



地域の方から学ぶことも多く
私も将来的には、和水町に貢献したいです。

三加和中学校生徒会長
みずしま ゆり
水嶋 結梨さん (下岩)

—生徒会長として心がけていたことは？
水嶋さん 中学2年のころから生徒会副会長をしていました。3年生の意見ばかりではなく、2年生や1年生の意見も取り入れようと思ひ、意見を言いやすい雰囲気を作ることにかけていました。
—和水町のいいところ、好きなところは？
水嶋さん 自然が豊かで、クラスメイトみんな仲間が良いことです。保育園から10年以上、一緒に友達もいます。
—地域の人から励まされたことや学んだことは？また、そのエピソードは？
水嶋さん 登下校の時に手を振ってくれたり、声をかけてくれたりしてくれることです。私も落ち込んでいた人がいたら、気を配って話しかけていますが、それは近所の方から学んだのだと思います。

—今後挑戦したいことや目標は？
水嶋さん 将来は半導体の会社で働きたいです。8月に町の事業で、台湾に行きました。初めて海外に行き、良い経験することができました。現在英検準2級を持っていますが、英語をもっと勉強したいです。英語がもっとできるようなって、国内だけでなく海外でも働けるようにしたいです。
—この町や地域への思い、住民へのメッセージをお願いします。
水嶋さん 登下校中の声掛けや習字、読み聞かせなど、地域の方には、普段から私たちのことを気にかけてくれたり、いろいろなことを教えていただきとても感謝しています。和水町はいいところがたくさんあるのて、いいところをもっと発信して、働く場所が増えて、和水町にもっと人が増えるといいなと思います。私も将来的には、和水町に貢献したいです。



いいところをあげればキリがない
この町に来て人間として成長できました。

菊水中学校生徒会長
いけだ ゆうしん
池田 優心さん (萩原)

—生徒会長として心がけていたことは？
池田さん 1年生の時から生徒会長になりたいと思っていました。自分から見た菊水中は、真面目過ぎる感じがしたので、笑顔とユーモアにあふれる学校にしたいという思いを常に持ち続けて活動していました。
—和水町のいいところ、好きなところは？
池田さん まずは子育てに優しい町だなと思っています。医療費も高校生まで無料だし、進学すれば支援金もあります。また、地域の方が優しい、自然が豊か、江田船山古墳をはじめとする史跡や文化がある、農業が盛んななどいいところをあげればキリがないです。
—地域の人から励まされたことや学んだことは？また、そのエピソードは？

—今後挑戦したいことや目標は？
池田さん 私は野球をしていて、高校でも野球をする予定です。プロ野球選手になりたいです。大谷翔平選手は、私生活でもゴミ拾いをされるなど、人間性も素晴らしいので、私も、プレーだけでなく、人間性も磨いていきたいです。生徒会長や体育祭の団長をした経験からチームをまとめる存在になりたいです。
—この町や地域への思い、住民へのメッセージをお願いします。
池田さん この町に来て、周りの方々の優しさに触れたことで、人間として成長できました。この町に来る人が増えるといいなと思っています。



新町名「名付け親大賞」受賞
いしはら
石原 みどりさん
(和仁)

和を尊び清らかな水が
いつまでも流れ続く町に
なっほしい。

新町名の名付け親

菊水町と三加和町が合併することが決まり「希望あふれ、人と地域が輝くまち」にふさわしい町名を、両町の住民をはじめ、全国へ一般公募しました。全国から多くの応募があり、新町名に「和水町」が選ばれました。今回は、その和水町と応募された方の一人、当時「名付け親大賞」を受賞した石原みどりさんへインタビューを行いました。

次世代の担い手

これからの和水町を担う次世代の代表として、三加和中学校と菊水中学校の生徒会長のお二人にもその思いを語っていただきました。

—どのように「和水町」を命名されましたか？
石原さん 新町名を募集していることが分かり、今まで応募なんてしたことなかったのですが、初めて応募してみようと思いました。夫と2人で、辞書を引きながら、町名を考えていたのを今でも覚えています。新町名は「三加和町」と「菊水町」から二文字ずつ取った方がいいのではないかと思ひ、三加和の「和」と菊水の「水」を取って和水町としました。「なごみまち」としたのも響きや語呂がよい、覚えやすいなと思ひました。

—「和水町」にどんな思いや願いが込められていますか？
石原さん 私は約40年前に結婚をし、熊本市内から和水町へやってきました。和水町に来た時の最初の印象は、水がとてきれいなところでした。近くの川では、5月くらいになるとホタルも見ることができましたし、子どもたちもよく川で遊んでいました。町名には、和を尊び清らかな水がいつまでも流れ続く町になっほしいという思いも込められています。
—この20年間でうれしい出来事はありましたか？
石原さん 5年ほど前に退職しましたが、近くの保育園で保育士として働いていました。保育園で見ていた子が、大人になってその子の子を連れてきたときに、大人になっほすからその子の成長を見られてとても嬉しいと感じました。

—都会の方だとこんな経験はめったにないのかなと思ひました。
—これから先の20年、どんな町になっほしいですか？
石原さん 子どもからお年寄りまで、触れ合う機会やみんなが集まる場所もあっていいなと思ひます。特に新型コロナウイルスが流行した以降、近所の方でもあんまり会わなくなっほす方がいて、若い人の力で、もっと活気が生まれる町になっほしいです。
—若い世代や子どもたちに伝えたいことはありますか？
石原さん 和水町を離れて、遠くで仕事をしている方も、数日でもいいので和水町へ帰っほきてくると嬉しいです。和水町は、冬だと星や月がきれいに見えます。安心できる場所があっほ、とてもリフレッシュができますよ。